

# 働くマンション自治会=管理組合

ロイヤルアーク甲子園フロレス  
築6.5年・451戸



エコのグリーンカーテンも

子供たちがつくりました



自治会員が働いて、夏祭りもバス  
ツアーもまかなえました！

訓練では、240人の児童が隣の小学校から避難訓練で避難してきました



訓練でわかったこと

津波避難者をどう受け入れるか、市に頼るだけでなく、住民全体で話し合い独自のルール作りが必要である。

- ・何が足りなくて何が必要かを検証しないとイケない。
- ・住民の役割分担も事前に決めておく必要がある。



# ロイヤルアーク甲子園フローレス

働くマンション自治会=管理組合

築年数： 6.5年

場所： 甲子園九番町

総戸数： 451戸

15階建

## マンションの特徴

- 大規模で、若い世帯の多いマンションです。
- マンション独自の自治会がありますが、その自治会活動が活発です。
- 隣接する公園の清掃を市より請負ったり、毎週資源ごみの回収をして、市の補助金をもらったりして、自治会費をまかなっています。その資金で、毎年バスツアーに行ったり、夏祭りをしたり、グリーンカーテンのための苗木を住民に配ったりしています。
- 民間マンションとして、市の津波避難ビル第一号で、市の津波避難訓練の時には、小学生が避難する訓練をしました。

## うまくいったこと・発見したこと

- イベントの参加者は多い。特にお父さんが多く参加してくれるようになった。ノリがいい。
- いろいろな決めごとがさくさく決められる。
- 防災訓練など、かなり具体的で、役に立つ訓練ができた。

## きっかけは？

- マンション住民の中に、自治会活動の経験があり、熱心な方がいたこと。
- マンションセミナーで管理組合の任務の一つとして「コミュニティ」があることを知り、一体でやっていくことを提案したこと。

## 今後は・・・

- 自治会のイベントに参加者は多いが、自治会運営の後継者がいないので、今後は、自治会を組織化して、自治会役員を増やしていきたい。
- バスツアー、ミニ夏祭りはこれからも継続する。